

■ 市長から市民のみなさんへ

山陽小野田市市長
白井 信文



■ 人口調査票

毎月、市民課から前月末日現在の本市の人口と、校区別人口の調査票（一覧表）が届きます。3月1日に届いた調査票によると、残念ながら本市の人口は、平成29年2月末日現在、山陽小野田市誕生後、初めて6万4,000人を割り込み、6万3,926人に減少しました。今の第1次総合計画では、計画期間満了時の平成29年3月末日現在の人口を6万4,000人と想定していただけに、人口減少の時代とはいえ、やや残念な想いを禁じえません。3月から4月にかけて人の出入りはまだまだ続きます。関心を持って注視し続けたいと思います。

校区別では人口の格差の拡大が続いています。高千帆小校区と厚狭小校区はいずれも1万人台をキープしていますが、須恵小、小野田小、赤崎小、高泊小、埴生小の各校区を除くと、有帆小と本山小校区が3,000人台、出合小と厚陽小校区が2,000人台とさらに少なく、津布田小校区は僅かに1,000人台で、津布田小学校の授業には複式授業（ふた学年の児童が同一教室の前部と後部に分かれ、ひとりの先生の授業を受ける）が導入されていて、かなり深刻な状況にあります。

■ 水仙まつり

3月4日の午前中は、縄地ヶ鼻公園水仙まつりに出席しました。イベントのひとつに恒例の協賛俳句大会の表彰式があり、市長賞もありました。選考は事前に済んでいて、私の仕事は表彰状と副賞の贈呈だけでした。市長賞の作品は「出立の襟元正す水仙花」。素敵ですね。

■ レノファ山口

3月5日午後は、レノファ山口の今期初のホームゲームです。約1万人のファンが維新百年記念公園陸上競技場に詰め掛けました。試合前に本市の県立おのだサッカー交流公園に建設したクラブハウスが観客に紹介され、私も挨拶で、「これで戦いの本陣が整いました」（竣工式でのレノファ山口代表者の挨拶）を引用しましたが、勝負は1対2で惜敗でした。なお、3月26日（日）のホームゲームは、「山陽小野田市ホームタウンデー」です。ぜひ維新百年記念公園にご来場の上、熱い応援をお願いします。

■ 財政状況

県市町課から、このたび公表された財政状況に関する類似団体との比較分析表が届きました。人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類し、本市と同じグループに属する団体を類似団体と称すると、本市の類似団体は全国に90あります。以下、類似団体内の順位で本市の財政状況（普通会計）を紹介しますと、財政力は51位、財政構造の弾力性は72位、人件費等の状況は18位、将来負担の状況は61位、公債費負担の状況は77位、定員管理の状況は37位、給与水準は78位。もうちょっと頑張れ、といったところでしょうか。

